2026 年 11 月 25 日

報道関係者各位

マニュライフ生命保険株式会社

# 複雑な金融情報をよりわかりやすく伝える取り組みが評価

## UCDA アワードの「企業総合賞 ゴールド」を 4 年連続受賞

## 『こだわり変額保険 v2』の商品パンフレットも受賞

マニュライフ生命保険株式会社（取締役代表執行役社長兼 CEO：ライアン・シャーランド、本社：東京都新宿区、以下「マニュライフ生命」）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（UCDA）が主催する「UCDA アワード 2026」において、「企業総合賞 ゴールド」を 4 年連続で受賞しました。また、「印刷物」カテゴリでエントリーした当社の『こだわり変額保険 v2』のパンフレットも「UCDA アワード 2026」を受賞しました。今回の受賞は、複雑な金融情報をよりわかりやすく伝え、お客さまが十分な情報をもとに、より自信を持って意思決定できるよう支援するマニュライフ生命の継続的な取り組みが評価されたものです。

「第三者」による客観的な評価
UCDA
AWARD
2026

UCDA アワードは、生活者にとってわかりやすい情報提供を実現するコミュニケーションデザインを評価、表彰するものです。「企業総合賞」は、組織が提供する情報の品質と、年間を通じたユニバーサルコミュニケーションデザインへの幅広い取り組みを総合的に評価するもので、「企業総合賞 ゴールド」はその最高位にあたります。

マニュライフ生命は、「印刷物」カテゴリにエントリーした『こだわり変額保険 v2』の商品パンフレットについても、「UCDA アワード 2026」を受賞しました。同パンフレットは、お客さまが変額保険の仕組み、専門用語、リスクを理解し、ご自身のニーズに合った商品であるかを判断できるよう工夫している点が評価されました。特に評価されたポイントは、以下のとおりです。

- **複雑な内容をわかりやすく説明**：平易な言葉とイラストを活用し、商品の仕組みやリスクを理解しやすくしている。
- **専門用語を明確化**：用語集で説明している専門用語に点線の下線を付け、参照しやすくしている。
- **読み手の負担を軽減**：読みやすい文字サイズや適切な余白、明確なページ構成を採用し、ページ数の多い資料でも必要な情報を探しやすくしている。
- **説明後もお客さまの理解を支援**：お客さまが後からご自身で内容を振り返り、理解を深められるよう情報を構成している。

「Decisions made easier. Lives made better.（あなたの未来に、わかりやすさを。）」のもと、マニュライフ生命は、複雑な商品をよりシンプルでわかりやすいものにし、お客さまがご自身の選択肢を検討したうえで、十分な情報をもとに、より自信を持って意思決定できるよう支援することを目指しています。『こだわり変額保険 v2』のパンフレットは、主に商品の特徴を説明する従来のアプローチにとどまらず、お客さま一人ひとりのニーズに照らして、商品がどのような価値を提供できるかをより重視した内容となっています。また、制作過程では、お客さまから直接寄せられたご意見も反映しました。これにより、説明のどの部分がわかりにくいのか、また、お客さまと募集人との対話をより効果的に支えるために、どのように情報を提供すべきかを把握することができました。

マニュライフ生命は、個々のツールや資料の改善にとどまらず、社員や募集人が商品について学び、お客さまに説明し、サポートする方法も含め、組織全体にわかりやすいコミュニケーションを根付かせる取り組みを進めています。こうした取り組みを通じて、シンプルでわかりやすいことを、当社ならではの顧客体験として提供していくことを目指しています。

マニュライフ生命のチーフ・マーケティング・オフィサー（CMO）、カーラ・ハートライトは、次のように述べています。「金融商品は複雑な場合もありますが、それを理解するプロセスまで複雑である必要はありません。わかりやすいコミュニケーションは、お客さまがご自身の選択肢を理解し、必要な質問をし、自信を持って意思決定できるよう支援するうえで重要です。今回、4年連続でこのような評価をいただけたことは大変励みになりますが、何よりも大切なのは、これからもお客さまの声に耳を傾け、マニュライフとの一つひとつの接点を、よりシンプルに、よりわかりやすく、そしてよりお役に立てるものにしていくことです。」

マニュライフ生命は 10 年以上にわたり UCDA とともに、よりわかりやすいコミュニケーションの実現に取り組んでおり、2015 年以降、その取り組みが継続して評価されています。また、2022 年からは、部門や組織を問わず、社員が情報をより明確でわかりやすいものにするための改善の機会を見出すことを目的に、社内で「UCD チャレンジカップ」を開催しています。

**「UCDA アワード 2026」（印刷物カテゴリ）受賞対象物：『こだわり変額保険 v2』のパンフレット（抜粋）**




マニュライフ生命について

マニュライフ生命は、カナダに本拠を置く大手金融サービスグループ、マニュライフ・ファイナンシャル・コーポレーションのグループ企業です。ブランドメッセージ「人生に、たしかな選択を。」のもと、生命保険による保障、退職後の生活設計、資産形成など、お客さま一人ひとりに合わせたソリューションを通じて、より良い未来に向けた選択を支援しています。当社は、長期的な経済的ウェルビーイングの実現に向けて、グローバルな専門性と日本市場に根差した知見を融合し、保障、資産形成およびその継承をサポートします。

当社に関する情報は、公式ウェブサイト（https://www.manulife.co.jp）、および LinkedIn アカウント（https://www.linkedin.com/company/manulife-japan/）をご覧ください。

商品の詳細は、必ず「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「商品パンフレット」「ご契約のしおり/約款」「設計書」等をご覧ください。

※当商品の損失が発生するリスクおよびご負担いただく諸費用については＜別紙＞をご参照ください。

＜別紙＞

マニュライフ生命の『こだわり変額保険 v2』のリスクと諸費用

『こだわり変額保険 v2』のリスクや費用の詳細は、「ご契約のしおり／約款」、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」をご確認ください。

ご確認いただきたいリスクについて

■ 株価や債券価格の下落などによる損失のおそれがあります。

● 株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、下記の金額*が「払込保険料の合計額」を下回ることがあります。
・積立金の合計額
・解約返戻金額
・満期保険金額
＊ 減額をした場合は、その解約返戻金額との合計額

この保険にかかる費用について

次の費用を負担いただきます。

① 保険関係費
保険料の収納や保険契約の締結・維持および死亡保障などに必要な費用です。
●保険料の収納に必要な費用：月払基準保険料の 1%
●特別勘定の管理に必要な費用：積立金の合計額に対して年率 0.50%
●基本保険金額保証に関する費用：積立金の合計額に対して年率 0.01%
※ 上記以外の保険関係費は、被保険者の年齢・性別、保険期間などによって異なるため、一律には表示できません。

② 運用関係費
特別勘定の運用にかかる費用です。
●特別勘定の投資対象に応じて、次の費用を毎日積立金から控除します。
・投資信託の純資産総額に対しての信託報酬
・指数連動債券の純資産総額に対しての管理費用
● 上記の信託報酬および管理費用以外に、信託事務の処理に要する費用や金融派生商品の取引にかかる費用などがかかります。
※ 運用関係費のうち、信託報酬および管理費用以外にかかる費用は、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため、これらの金額および費用の合計額を表示できません。

③ 解約、減額時および払済定額終身保険などへの変更時の費用 （解約控除）
解約、基本保険金額の減額時などに、経過月数に応じて積立金から控除する費用です。
※解約控除は、被保険者の年齢・性別、保険期間などによって異なるため、一律には表示できません。

④ 積立金の移転の費用（スイッチング手数料）
スイッチングを行った際に、特別勘定の積立金から控除する費用です。
※ 1 保険年度において、12 回まではスイッチング手数料はかかりません。

⑤ 年金支払期間中の費用（年金管理費）
無配当年金特約を付加した場合、年金支払日に責任準備金から控除する費用です。